

小江戸川越



<http://www.city.kawagoe.saitama.jp/>

## 中院 (市指定文化財)

～静けさに心洗われるひととき～

東照宮の南に位置し、昔は星野山無量寿寺、北院・中院・南院の中心であっただけに、趣のある静かな境内です。本堂前にはみごとな「しだれ桜」があり、ぜひ参詣したいところです。

ここは島崎藤村の義母、加藤みきの墓があり、藤村が義母に贈った茶室「不染亭」が移築され、藤村書の「不染の碑」があります。



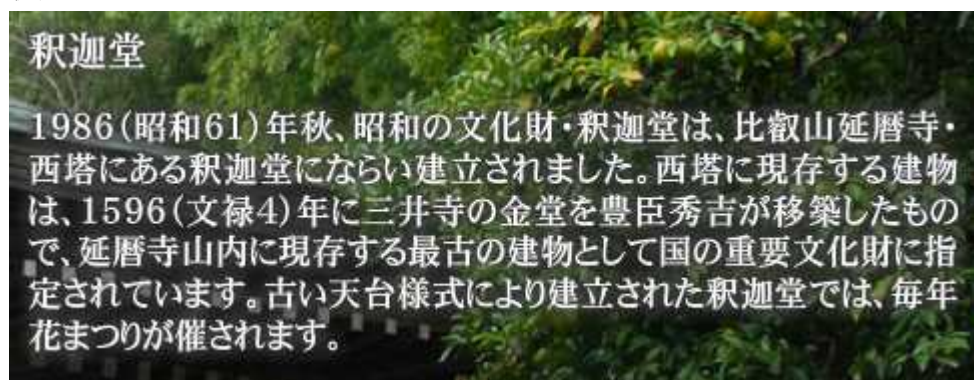
天台宗別格本山

中院

伝教大師最長の教えを受けた開基慈覚大師円仁は法華經の講演を各地で開きました。円仁がもたらした法灯は、約1200年前に、中院に受け継がれて現在に至っています。

中院は、狭山茶発祥の地としても知られています。円仁が、開山当時、京都より茶の実を携え、境内に薬用として栽培を始めました。

釈迦堂



1986年に、比叡山延暦寺・西塔にある釈迦堂に習い、建立されました。延暦寺の西塔に現存する建物は、三井寺の金堂を秀吉が移築したもので、延暦寺三ないに現存する最古の建物(重要文化財)で

す。

## 仏足跡

お釈迦さまの入滅後、インドには約300～400年間は仏像がありませんでした。これは尊いお釈迦さまのお姿を俗人と同じ人間の姿に現わすのは勿体ないことであるとの考えからでした。人々は菩提樹の下にお釈迦さまがおられることを思い、またお釈迦さまの説法地と伝えられるところにお釈迦さまの足跡を石に刻み、その足跡を通してお釈迦さまに祈りを捧げました。それが仏足跡です。釈迦堂の前にある仏足跡をぜひご覧下さい。

## 島崎藤村

中院に島崎藤村の義母・加藤みき婦人の墓があり、たびたび藤村もここを訪れました。この写真は、昭和16年5月22日、島崎藤村と妻・静子が加藤みき婦人の七回忌の法要のために、中院を訪れたときのもので、前住職信海大僧正が撮ったものです。

## しだれ桜

中院の春は、桜。ことにしだれ桜が知られております。境内には数種類の桜の木があり、3月にはいと、順を追うように咲いていきます。本堂前のしだれ桜をはじめとする、一本一本の桜を大切に、後世に伝えていきたいと思ひます。

NEXT ▶



中院にはかつて本堂、釈迦堂、薬師堂の三堂が揃っていました。鎌倉時代に建立された釈迦堂と薬師堂はたいへん大きな伽藍で、道場として多くの信者で繁栄していました。その規模は本堂よりも大きかったと伝えられています。

また、江戸時代には不断念仏を行っていたことが分かっています。不断念仏とは特定の日時を決め昼夜間断なく念仏を唱えることで、中院歴代先徳のお墓の一画に、一万日から五万日まで一万日ずつの碑が建てられています。五万日とは百三十七年間で、中院が長年に亘り大勢の方々の信仰の証しとなっていたことが、その信心の深淵さとともに窺い知ることが出来ます。しかし、残念ながらその釈迦堂と薬師堂も昭和20年1月末に全焼。長年その復興が懸案でした。

やがて、昭和58年には先代住職により釈迦堂が復興されました。そして、中院開山千二百年記念事業の一環として計画された薬師堂復興は、遂に平成24年4月14日に落慶。実に六十七年振りの三堂がここに揃いました。

堂内には、人々と社会の病を治し救う薬師如来を本尊に祀り、十三仏が祀られています。また、併せて永代供養墓も併設されています。

中院には、かつて本堂、釈迦堂、薬師堂の三堂が揃っていました。釈迦堂も薬師堂も鎌倉時代に建立された大伽藍でした。両堂とも第二次大戦末期昭和20年に全焼してしまいました。昭和58年に釈迦堂が復興され、堂内には薬師如来が祀られています。檀家さんのお位牌がたくさん並んでいました。